

# 目 次

第3版はしがき

<b>1 章</b>	<b>序 論</b> .....	<b>1</b>
1	民法とは	1
2	民法の歴史	2
3	民法の構造	3
4	私権の分類	5
5	民法の基本原則とその修正	6
6	民法の読み方	8
<b>2 章</b>	<b>総 則 (1) 自然人・法人</b> .....	<b>10</b>
1	民法総則の基本構造	10
2	自然人の権利能力	11
3	自然人の意思能力	12
4	自然人の行為能力	13
5	法 人	17
<b>3 章</b>	<b>総 則 (2) 法律行為・代理・時効</b> .....	<b>21</b>
1	法律行為	21
2	代 理	38
3	時 効	44
<b>4 章</b>	<b>物 権 (1) 物権の意義と種類・所有権の内容</b> .....	<b>50</b>
1	物権と債権の違い	50
2	物権の種類	54

- 3 物の意義 56
- 4 物権的請求権 57
- 5 所有権の内容 58

## 5章 物 権 (2) 物権変動…………… 61

- 1 物権変動という用語の意味 61
- 2 物権変動が生じる場合 62
- 3 法律行為による物権変動 63
- 4 物権変動の公示 64
- 5 公示されていない物権変動の取扱い 68  
—公示の原則と物権変動の対抗要件
- 6 公示が間違っていたらどうなるか—動産の即時取得 72

## 6章 物 権 (3) 担保物権…………… 75

- 1 担保という用語の意味 75
- 2 約定担保—抵当権・質権 75
- 3 法定担保—留置権・先取特権 78
- 4 特別法上の担保物権 79

## 7章 債権総論 (1) 債権の目的・債権の効力…………… 80

- 1 債権と債権法 80
- 2 債権の目的—様々な種類の債権 82
- 3 債権の効力—履行の強制と債務不履行による損害賠償 86

## 8章 債権総論 (2)…………… 96

### 責任財産の保全・多数当事者の債権債務関係

- 1 責任財産の保全—債権者代位権と詐害行為取消権 96
- 2 多数当事者の債権債務関係—連帯債務と保証債務 102

<b>9章</b>	<b>債権総論（3）</b> ……………	109
	債権譲渡・債務の引受けと契約上の地位の移転・債権の消滅	
	1 債権譲渡	109
	2 債務の引受けと契約上の地位の移転	112
	3 債権の消滅——弁済と相殺	113
<b>10章</b>	<b>債権各論（1） 契約総論</b> ……………	118
	1 債権各論の意義と契約総論・契約各論	118
	2 契約トラブルと民法による解決	118
	3 契約法の基本原則	121
	4 契約の分類	124
	5 契約の成立	125
	6 契約の解釈	126
	7 契約の効力	127
	8 契約の解除	130
<b>11章</b>	<b>債権各論（2） 契約各論</b> ……………	132
	1 典型契約の意義	132
	2 贈与	135
	3 売買	135
	4 賃貸借	137
	5 消費貸借	140
	6 請負	141
	7 その他	143
<b>12章</b>	<b>債権各論（3） 不法行為その他</b> ……………	145
	1 私たちの生活と不法行為	145
	2 不法行為の意義	145
	3 一般不法行為の要件	150

- 4 一般不法行為の効果 153
- 5 特殊不法行為 156
- 6 事務管理 159
- 7 不当利得 160

## 13章 親 族…………… 162

- 1 はじめに 162
- 2 婚姻——夫婦関係の成立とその効果 163
- 3 婚姻の終了——離婚の要件と効果 166
- 4 親子（1）——親権・親の責務等 169
- 5 親子（2）——実親子関係・養親子関係 170
- 6 親子（3）——離婚後の親子関係 174
- 7 後見（保佐・補助）および扶養 175

## 14章 相 続…………… 177

- 1 はじめに 177
- 2 法定相続 178
- 3 複数の相続人と遺産分割 179
- 4 相続人の不存在 181
- 5 遺 言 181
- 6 配偶者居住権 183
- 7 遺留分制度 184
- 8 特別の寄与 184
- 9 所有者不明土地の発生の抑制 185

## 索 引

\* 本書において引用する法令の条文のうち、法令名の記載がないものは、断りのない限り、民法の条文です。